

議席番号・質問順位及び質問の件名

令和３年１１月１日開会

質問 順位	議席 番号	質 問 者 氏 名	質 問 件 名 (概 要)
<u>1</u>	1	<u>小澤 ゆず</u>	交通手段について
<u>2</u>	2	<u>矢ヶ崎悠輔</u>	辰野駅の活性化を
<u>3</u>	3	<u>井上 怜治</u>	辰野町商店街の駐車場と歩道の整備を
<u>4</u>	4	<u>大森 伶杏</u>	辰野中学校前の交差点を安全に
<u>5</u>	5	<u>藤澤 瑞樹</u>	地球温暖化に配慮した街づくりを
<u>6</u>	6	<u>福島 未悠</u>	宮木駅周辺に時計の設置を
<u>7</u>	7	<u>小林 紗英</u>	花火の打ち上げについて
<u>8</u>	8	<u>宮原 薫子</u>	電車通学性に安心を
<u>9</u>	9	<u>巻渕 響稀</u>	町の知名度の向上を
<u>10</u>	10	<u>倉澤 拓弥</u>	遊歩道の修繕について

令和3年ほたるの里中学生議会会議録

1. 開会年月日 令和3年11月1日(月) 午後3時00分

2. 開会場所 辰野町議事堂

3. 議員総数 10名

4. 出席議員数 10名

1番	小澤 ゆず	2番	矢ヶ崎 悠 輔
3番	井上 怜 治	4番	大森 伶 杏
5番	藤澤 瑞 樹	6番	福島 未 悠
7番	小林 紗 英	8番	宮原 薫 子
9番	巻 渕 響 稀	10番	倉澤 拓 弥

5. 地方自治法第121条により出席した者

町長	武 居 保 男	副町長	山 田 勝 己
教育長	宮 澤 和 徳	総務課長	加 藤 恒 男
まちづくり政策課長	一ノ瀬 敏 樹	保健福祉課長	竹 村 智 博
産業振興課長	赤 羽 裕 治	事業者緊急支援担当課長	岡 田 圭 助
建設水道課長	宮 原 利 明	会計管理者	中 村 京 子
こども課長	小 澤 靖 一	生涯学習課長	西 原 功
辰野病院事務長	今 福 孝 枝		

6. 地方自治法第123条第1項の規定による書記

議会事務局長	桑 原 高 広
議会事務局庶務係専門員	有 賀 智 美

7. 地方自治法第123条第2項の規定による署名議員

議席 第1番	小 澤 ゆず
議席 第2番	矢ヶ崎 悠 輔

8. 会議の顛末

○議会事務局長

ご起立願います。(一同起立) 礼。(一同礼)

開会に先立ちまして、中学生の皆さんに連絡事項がございます。先日のリハーサルの時に皆さんから見て右側、議場入り口上のタイマーに質問の残り時間が表示されると説明しましたが、本日は表示されませんのでお気を付けください。なお質問時間については8分で変更はございません。あまり時間を気にせず質問をしてください。以上でございます。

○議 長

定足数に達しておりますので、これより「第3回ほたるの里中学生議会」を開会いたします。欠席届が出ております。欠席の届けですが、三浦住民税務課長より欠席届が提出されておりますのでご報告申し上げます。開会にあたり町長より挨拶を受けます。

○町 長

皆さんこんにちは。本日ここに「ほたるの里中学生議会」を招集申し上げましたところ、辰野中学校から8名の方、両小野中学校から2名の方に議員としてご参加いただき、誠にありがとうございます。また、本日傍聴の生徒の皆さん、先生方をはじめとする皆さま方にも改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年度の中学生議会でもお話しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況が続く、中学生の皆さんも学校での学習、部活動、家庭での暮らしや友達との交流、様々な面で制約や我慢もいただきながら、感染防止対策の徹底にご協力いただいていることに改めて感謝申し上げます。3年間の貴重な思い出のひとつとなる修学旅行も今年は行き先を県内で、様々な工夫をしながら実施していただきました。更に多くの皆さんにもワクチン接種を受けていただいたところでもあります。そうした皆さんのご協力のおかげで、このところ発表される新規陽性者の数も全国的に少なく、感染が抑えられた状況となっていますが、いましばらくは油断せずにマスク、手洗いなどの基本的な感染防止に引き続きご協力をお願いいたします。過去の感染症の歴史からも明らかのようにいずれコロナも収束いたします。その後は感染前とは違った新しい時代が必ずやってきます。中学生の皆さんがいずれ大人になって社会に出た時、自分の育ったふるさと辰野町を誇りに思い、自慢できるような町にしたいと思います。本日の質問の中にもありますが、そのためのアイデアをたくさん寄せてください。みんなで

明るい辰野の未来を創っていきましょう。さて議員の皆さん、皆さんが今座っておられるこの議場は、選挙で選ばれた町議会議員の皆さんと役場の行政側とが、町民の皆さんの幸せのために真剣な議論を交わすとても大切な場所であります。事前に通告いただいた質問を拝見しましたが、道路、交通問題、地球温暖化、まちづくり、町の活性化などそれぞれの視点に立って、身近な疑問や町にとっても大変難しい問題など、日ごろ良く勉強されているなという感心させられる内容で、同時に大変頼もしく感じた次第であります。本日の経験をもとにまちづくりや議会、役場の仕事に対し更に関心を高め、将来の町の発展のためお力を貸していただくことをご期待申し上げ、議会招集にあたっての挨拶といたします。よろしくお願いします。

○議 長

これより、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、議席1番小澤ゆず議員、議席2番矢ヶ崎悠輔議員を指名いたします。

それでは、質問を許可して参ります。質問順番はあらかじめ抽選にて決定してありますのでよろしくお願い申し上げます。質問順位1番、議席1番小澤ゆず議員。

【質問順位1番 議席1番 小澤 ゆず 議員】

『交通手段について』

○小澤 ゆず 議員 (1番)

通告に従って質問してまいります。辰野中学校3年の小澤ゆずです。このような機会をいただきありがとうございます。私は「交通手段について」提案します。

現在、辰野町には周遊バスがありません。移動手段がないと、もしアラパのように遊べる場所があっても遠いからという理由で、利用者が減ってしまうと思います。実際に私もバスケットをしにアラパに行ったことがあります。行くだけで1時間以上かかってしまいました。バスケットをする前に疲れてしまいます。そこで私は以下の事を提案します。

それは町内に周遊バスを設けてほしいということです。また設ける際には町民にバスがどこを回ってほしいかの希望をとってほしいです。町民の希望とずれた場所を周回しても無意味だからです。ご検討をお願いします。以上ですが、町長の答弁をお願いします。

○町 長

はい。小澤議員の質問は「周遊バス」あるいは「循環バス」を作ってほしいとの提

案であります。辰野町にはないこの周遊バスですが、他の市町村の中には独自に親しみやすい愛称を付けて運行しているバスもあります。さてこの「周遊バス」あるいは「巡回バス」ですが、周遊という言葉には「一定の地域を回る」という意味があるとおおり、立ち寄りたい目的地をつないで回るバスということになります。この交通は地域内の目的地をつないで定時定路線で運行するため、小澤議員の提案のとおり、アンケートなどでどこに停まってほしいか、どこに行きたいかを調査したうえで、なるべく多くの方が利用できる仕組みを整えることが必要となります。では小澤議員が提案する周遊バスがなぜ辰野町で運行されていないのでしょうか。これまで検討がなされてこなかったわけではありませんので、検討したが実現できなかった理由については担当課長から説明をさせていただきます。

○まちづくり政策課長

それではご説明を申し上げます。まず1つには辰野町の地形的特性があります。「周遊」「巡回」に効果的な地形は一定の広さが必要ですが、辰野町は町の85%以上が山林であり山間の集落が多いため、バスがこまめに周遊することができにくい特徴があります。2つ目は公共交通として町が運行する場合、学生から高齢者まで幅広い移動目的を同一の交通システムが担うということには無理が生じます。例えば町民全体の人口の37%を占める、65歳以上の高齢者に対する過去のアンケートによりますと、求めている目的は通院、買い物、用足しが主なもので、行動時間は主に午前中で施設が集中する中心市街地が目的地となります。一方学生などの若者はアラパに行ったり、他の目的での利用となるでしょう。このように世代によって目的やバスを利用する時間帯が異なっております。この課題を検討せずに運行しても、利用者が少なく費用だけが嵩んでしまいますね。ですから、小澤議員の主張されたとおり新しい交通システムを始める時には、綿密な事前調査や意識調査が必要になります。現在町内では町営バス川島線、飯沼線とともに、町中と居住地側とを結ぶ事前登録制の乗り合いタクシーが1日3便運行していますけれども、主に高齢者の移動手段として活用されております。したがって現在のところは、アラパを含めた荒神山公園の中には停まりません。今、申し上げた大きく2つの課題のある周遊バスですが、これからは情報通信技術AIの進歩により、使いやすい新たな移動手段が実現できるかもしれません。そのためにはもう少し時を待つ必要がありそうです。ところで、最近注目されているのが電動自転車のシェアサイクルです。都会ではすでに始まっているようす

が、坂道の多い辰野町でも疲れずに移動することができます。この AI の通信技術で位置情報や予約手続きが簡単にできて、行きたいところに行きたい時間に行く、そして目的地で自転車を返却できます。中学生がアラパにバスケットに行くなどの際には、こうした乗り物の方が利用しやすいのかもしれませんが。このような便利な乗り物による移動システムが、近い将来地方都市でも実現できるかもしれませんので、研究してみたいと考えております。以上です。

○議 長

小澤議員よろしいですか。

○小澤 ゆず 議員 (1 番)

以上で質問を終わります。

○議 長

進行いたします。質問順位 2 番、議席 2 番、矢ヶ崎悠輔議員。

【質問順位 2 番 議席 2 番 矢ヶ崎 悠輔 議員】

『辰野駅の活性化を』

○矢ヶ崎 悠輔 議員 (2 番)

辰野中学校 3 年の矢ヶ崎悠輔です。お忙しい中このような機会を設けていただきありがとうございます。私は、辰野町の窓でもある「辰野駅」についてお話しします。

私は塾に通う際に辰野駅を利用します。その際に毎回思うことがあります。それは辰野駅が閑散としているということです。辰野駅は飯田線の終着駅であり、かつては駅舎に多くの店舗が入り、それは栄えていたことを両親の話から知りました。ですが現在の辰野駅は売店らしきものはありません。「電車に乗って目的地に着けばそれでいい」と思う人が大多数なことは承知しています。ですが、それでは辰野町は発展しないのではないかと感じてしまうのです。電車に乗る以外の目的で辰野駅に来られる人が増えれば、それはとても素敵なことだと思います。上諏訪駅には足湯があります。観光客は電車に乗るのではなく足湯を目的に上諏訪駅に行くと言います。

少子高齢化が進行し、電車の利用者も年々減少していく今、辰野駅をもう一度人々の活気であふれた魅力のある場所として復活させたいと思うのです。辰野駅の活性化については町ではどのようにお考えでしょうか。以上ですが、町長の答弁をお願いいたします。

○町 長

はい。矢ヶ崎議員からは、かつて栄えた辰野駅の活性化についてのご質問をいただきました。辰野駅は明治 39 年 6 月 11 日に開業し、今年で 115 年目を迎えました。開業後 10 年間は現在の飯田線、当時の伊那電気鉄道が西町駅を終点としており、辰野駅とつながっておらず、その不便さがかえって荷役、運送業の事ですが、運送業であるとか旅館また商店などの繁栄を促すこととなり、下辰野商店街を大きく発展させたという歴史があったことを、ぜひおさえておいていただきたいと思います。長い歴史を持つ辰野駅ですが、昭和 58 年 7 月に岡谷駅から塩尻駅へのトンネルが開通し、特急列車が止まらない駅になりましたが、それでも 1 日あたりの乗車人数は約 2,000 人でありました。それが平成 13 年には約 1,000 人、また令和元年には約 500 人と 36 年間で約 4 分の 1 に減っています。昭和 58 年 6 月には新しい駅ビルができて、「リュシオール辰野」と命名されました。当時は駅ビルにいろいろな商業施設ができ、電車を利用する方々だけではなく、本屋、レンタルビデオ屋、ハンバーガーショップ、蕎麦屋など若者を呼び寄せる様々なお店が営業し、多くの利用者で賑わっていた記憶があります。皆さんのご両親に当時の話を聞けば、懐かしさとともに活気に満ちていた辰野駅や駅前商店街の様子を、目を細めながら話してくれることと思います。現在使われていないスペースが目立つ駅ビルの活用については、JR 東日本でも課題となっているようですが、このほど 1 階の一部を利用して地域の農業の活性化に向けて農作物の集荷場に活用し、朝取り野菜を鮮度を保ちながら首都圏に送る事業を始めています。そのほか駅ビル活用の考え方については、まちづくり政策課長から申し上げます。

○まちづくり政策課長

2 年前まで発行しておりました「たつのこども広報『SCOPE』」がありますが、こちらで広報委員の皆さんが小・中学生にアンケート調査をしております。この中で「辰野駅に何が欲しいですか」という設問に対して、1 位「売店」、2 位「飲食店」、3 位「コンビニ」、4 位「自動改札」、5 位「カフェ」でした。そのほか駅弁、駅そば、本屋など当時の賑わいの復活を期待するような要望も上がっていました。いずれも民間事業者に期待するものですが、駅ビルのテナント料などの固定経費に対して利益が出せるのかが課題になると思います。ところで、辰野駅とともに発達した下辰野商店街ですが、最近、若者の力で閉まっていたシャッターが開き始め、新しいお店が次々と開店しています。空き店舗をワクワクするお店に変えていきたいと考える若者たちが、辰野駅をワクワクする空間に変えたとしたら何ができるか、大変興味深く思いま

す。矢ヶ崎議員からも具体的なアイデアがあれば、ぜひ聞かせてほしいと思います。この9月に辰野町サイクルツーリズム協議会が設立されましたが、役員には辰野駅を管轄する塩尻駅長さんが入っています。町からは自転車をそのまま電車内に持ち込んで旅をする、サイクルトレインの提案もしておりますので、実現すれば観光客を呼びこめる有力な手段になるのではないかと期待をしているところでございます。以上です。

○議 長

矢ヶ崎議員よろしいですか。

○矢ヶ崎 悠輔 議員 (2 番)

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議 長

進行いたします。質問順位3番、議席3番、井上怜治議員。

【質問順位3番 議席3番 井上 怜治 議員】

『辰野町商店街の駐車場と歩道の整備を』

○井上 怜治 議員 (3 番)

辰野中学校3年の井上怜治です。今回はこのような機会をいただきありがとうございます。あらかじめ通告しましたとおり、私は商店街の駐車場と歩道の整備について提案いたします。

空き店舗が多く、どこかさみしい雰囲気のあった商店街でしたが、最近では若者向けの新しいお店などができ活気づいてきています。しかし現在の商店街周辺の歩道状況はあまりいいとはいえません。また、駐車場も同様です。商店街を通る歩道は平坦ではなく、でこぼこし躓きやすくなっています。また、せっかく商店街へ出向いた際も、自動車を停める駐車場がなく立ち往生してしまいます。交通の便が悪いと、せっかくの商店街へ出向いた際も町民の足が遠のいてしまいます。

そこで、商店街の活性化を支えるために、歩道の整備と駐車場の設置を行ってはいかがでしょうか。車を駐車場に停め、平坦で歩きやすい歩道を通って買い物を行うことの出来る商店街を希望します。以上ですが、町長の答弁をよろしくお願いします。

○町 長

はい。井上議員の商店街への思いですとか、お客さんの目線で考えられた駐車場や歩道の問題点について、提言をしていただき感謝いたします。辰野町商店街は正確に

は下辰野商店街とありますが、回答の前にこの商店街と歩道について若干ご説明させていただきます。私が中学生だった昭和 40 年代の頃の下辰野商店街は、日本が高度経済成長の真っただ中の頃で、道は狭く歩道もありませんでした。しかし活気があふれ当時、下辰野二丁目周辺は建物が 2 階建てや 3 階建ての建て替えが始まるなど、近代化が進んだ時代だったと記憶しております。その後、私は県商工会連合会の経営指導員として、この商店街に関わったわけではありますが、当時車社会の到来で駐車場不足が叫ばれる中、全国に先駆けて共同駐車場の設置に取り組みました。また歩道についても必要性を感じ商店街出身の町会議員の方と、歩道をインターロッキングで施工してある先進地、駒ケ根の商工会議所あるいは駒ケ根市役所の方へ出向いてですね、そのインターロッキング事業について勉強もさせていただきました。商店街の皆さんに協力をいただきながら、今後のあり方を考えてまいりました。最近では議員ご指摘のように、商店街の中に新たに個性的なお店も増え始めましたので、歴史ある風景の中、新しく変わり始めた空間をゆっくり歩きながら、買い物を楽しむことができると思います。現在、駐車場の数には限りがありますが、ぜひ辰野駅横のコインパーキングなどを利用しながら、多くの若い皆さんに商店街に足を運んでいただき、ご意見をいただければと思います。ご指摘の商店街の駐車場不足の対策については、担当課長よりご説明させていただきます。

○事業者緊急支援担当課長

それではご指摘の商店街の駐車場不足の対策などについてお答えいたします。まず商店街周辺の駐車場の数ですが、駅前のコインパーキングなど含めて大小 40 以上の駐車場がございます。その中で全面または一部のお店の専用駐車場といった物件もありますが、個人の方が借りられている月極駐車場のシェアが多いのが現状です。このような状況をふまえて辰野町では駐車場として、利用が可能な土地について商店街の皆さんや地元の皆さんと意見交換を行いながら、町として駐車場の確保を検討しております。合わせて辰野町ではこの商店街を多くの皆さんに利用していただくことを目的に、魅力的なお店を誘致する事業を積極的に実施しております。現在下辰野商店街にある約 140 の店舗の内 30 ほど空き店舗がございますが、こちらを有効に活用して商店街の活性化をしていこうということを目的に、民間事業者や商店街の皆さんの協力をいただきながら、休眠不動産見学会という取り組みを 4 年前から実施しております。そのほか 2019 年には町外から 54 の様々なお店に来ていただいて、空き店舗

でお店を開くという「トビチマーケット」も実施しております。このような取り組みの結果4年間で、レンタルサイクル店ですとか雑貨屋そしてまたお菓子店、サテライトオフィス、キッチンカーなど、約20のお店が開店することとなりました。辰野町ではこれからも多くの町民の皆さんが地元の商店街を利用していただくために、関係者の皆さんやそしてまた地元の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、駐車場対策や賑わいのある商店街作りに取り組んでまいります。以上です。

○建設水道課長

議員、ご質問の歩道の事について説明させていただきたいと思います。辰野町にある道路につきましては国道・県道・町道等がございます。それぞれ道路改良や管理する部署が決まっております、国道153号線、県道につきましては長野県が管理している道路になります。町道等につきましては辰野町が管理する道路になっております。ご提案の場所は、主要地方道下諏訪辰野線という県道で、長野県が改良や維持管理を行っている部署になります。ご指摘の道路につきましてはですけども、昭和40年から54年にかけて都市計画道路という形で長野県で整備したものでございます。全幅が15メートルの道路で3メートルずつの歩道が両側にある道路でございます。建設から40年以上の月日がたっておりまして、先日、自分も歩きましたが歩道等でこぼこしている場所がかなりあるということはお理解しております。このような状況につきましては道路管理者の長野県と相談しながら、改良の要望をしていきたいと思っております。なお、下水道のマンホールの回りがへこんでいるような場所等もございまして、そちらにつきましては町で対応していきなさいいけない所になりますので、予算取りをしながら早期の修繕に備えていきたいと思っております。以上です。

○議 長

井上議員よろしいですか。

○井上 怜治 議員 (3番)

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議 長

進行いたします。質問順位4番、議席4番、大森伶杏議員。

【質問順位4番 議席4番 大森 伶杏 議員】

『辰野中学校前の交差点を安全に』

○大森 伶杏 議員 (4番)

辰野中学校3年の大森伶杏です。このような機会をいただきありがとうございます。
私は辰野中学校前の交差点の安全性についてお聞きします。

辰野中学校前の交差点は、学校に通う多くの生徒が利用します。生徒によっては、そこで2段階、横断歩道を渡らなければなりません。そういった生徒が時間短縮のために、1回で渡り切ろうとして、歩道が無視し斜めに横断している場面を見たことがあります。歩車分離式の信号ですが、もし車が信号無視をすれば大きな事故につながる恐れがあります。

そこで私は提案があります。中学校前の信号をスクランブル式にして、斜めに横断できるようにしてはどうでしょうか。スクランブル式は全方向の車を停止させ、その間に全方向の歩行者を横断させるという方式です。これなら多少道が混みあいますが、安全性は高まります。スクランブル式が導入できないようでしたら、その理由と現在の交差点のシステムを採用している理由をお聞かせください。以上ですが、町長の答弁をお願いします。

○町 長

はい。中学生の皆さんも実感されていることと思いますが、朝夕の通学の際、学校の先生方やPTA・保護者の方、地域の皆様にそれぞれの立場で見守り活動や、警察や道路管理者などと協力して、通学路等の緊急合同点検等に取り組んでいただいていることに改めて感謝したいと思います。一方で全国的には通学中の児童生徒が巻き込まれる交通事故が後を絶たず、その多くが安全の不確認によるものとされています。さて、道路の信号や横断歩道の設置や変更については、交通安全施設を管轄している県の公安委員会が現状を調査の上、検討し決定しております。町としても各学校やPTA、地域などから寄せられる改善要望を、教育委員会等と相談しながら県の公安委員会に上げて、皆さんが安心して登下校できるように努めてまいりたいと思います。提案のありましたスクランブル交差点についても、以前からPTAより要望をいただいておりますので、その後の経過については担当課長からご説明いたします。よろしくお願いします。

○総務課長

それでは、私の方から経過についてお答えをさせていただきたいと思います。昨年6月、PTAまた保護者の方から学校前の交差点についてスクランブル化についてご要望いただきましたので、伊那警察署を通じて県の公安委員会へ要望書を提出さ

せていただいております。その後、伊那警察署交通課を通じこの要望に対するこれまでの検討状況の報告がありましたので、お答えをさせていただきたいと思いますが、私もちょうど中学校のそばに住んでおりますので、毎朝、登下校される皆さんの様子を見ております。私が見る限り交通マナーしっかり守っていただいているかなと思いますけれども、スクランブル化については同じ疑問を持っておりました。そうした中でこのスクランブル化なんですけれども、まずこういった交差点については歩行者の安全のため、またスムーズな交通のために歩行者が車道を横切る1回の時間をなるべく少なくするとゆったことが必要です。スクランブル式の場合ですと、車道を斜めに渡ることによって1回に道路を渡る歩行距離が延びることになりますので、その分時間を長く見積もる必要が出てまいります。皆さんも授業で勉強されてるかと思いますが、直角二等辺三角形の斜めの辺、斜辺についてはほかの辺のルート2の倍の長さになりますね。ですから1.4倍の距離を歩くことになるんだろうなと思います。そういったことを考えますと歩行速度が遅い方ですとか、信号の変わる直前に渡り始めた方が、確実に反対側に渡るまでの時間も想定する必要がある、そのために信号を切り替えるタイミングを現在より遅くせざるを得ないと、そういったことで交通の流れも悪くなるので、現在の歩行者については、歩行者と車とは分けてあるんですけども斜め横断を認めない、これを歩行者専用現示式というようですが、その方式を採用しているということでもあります。またこの交差点については、管理上、学校の正面玄関前と合わせて1箇所の信号、歩道の扱いになっております。ですのでスクランブル式に変更する際は、少しでも車の流れを円滑にして皆さんの安全を守るために、この校門前の信号の廃止も検討しなくてはならないということになりますので、場合によっては皆さんもっとちょっと不便になったりするのかなあということもございます。そういったことがございますので、もう少し慎重に検討させてほしいということでした。町としましてはこの公安委員会の検討結果を待ち、結果が出ましたら学校やそれから教育委員会と相談して、今後の検討をしてまいりたいと思います。以上です。

○議 長

大森議員よろしいですか。

○大森 伶杏 議員 (4 番)

以上で質問を終わります。

○議 長

進行いたします。質問順位 5 番、議席 5 番、藤澤瑞樹議員。

【質問順位 5 番 議席 5 番 藤澤 瑞樹 議員】

『地球温暖化に配慮した街づくりを』

○藤澤 瑞樹 議員 (5 番)

通告に従って質問してまいります。私は辰野中学校 3 年の藤澤瑞樹です。このような機会をいただきありがとうございます。

私は、地球温暖化に配慮した街づくりについて提案します。社会科の授業で地球温暖化について学んだとき、これから地球の平均気温はますます上昇していくことを知りました。そこにヒートアイランド現象なども起こることも分かりました。辰野町では東京のように 100 年間の中で、平均気温が 3 度前後上昇することはないかもしれませんが、辰野町では約 1 度前後は上昇しているそうです。

そこで私は一つ提案したいと思います。町内の学校・病院・公共施設などに植物のプランターの設置と建物の壁面、もしくは屋上部に緑を作付けするというのはいかがでしょうか。これには周辺の気温が下がるというメリットだけでなく、緑によるリラックス効果や外観の向上にもつながるものです。豊かな自然を山間部だけでなく、平地や施設にも取り入れ、地球温暖化に配慮した街づくりを進めてほしいです。以上ですが、町長の答弁をお願いいたします。

○町 長

辰野町内で観測される年間平均気温も 1980 年代から 90 年代は 10 度前後であったものが、近年は 12 度を超える年もありまして、1、2 度上昇しておりまして、地球温暖化を実感されていることと思います。近年毎年のように大雨や台風等の自然災害が多発しているのも、その影響と言われております。国際的な取り組みが必要な課題ではありますが、町としてもできることから取り組んでまいりたいと考えております。町の第 6 次総合計画におきましても、その基本方針として「豊かな自然環境を守り活かす持続可能な町づくり」を掲げ、基本目標等で「まちのシンボルであるホタルが飛び交う自然環境、生活環境を地域が一体となって守り、ホタルをはじめとした辰野町らしさ、良さに誇りと愛着を持った町民や関係人口などがいるまち」を目指しておりまして、地球温暖化の抑制にも努めてまいりたいと考えております。提案内容はその目標に沿った大変良いアイデアだと思います。詳しくは担当課長からお答えをさせて

いただきます。

○総務課長

担当課長ということですが、本来、環境でしたら住民税務課が担当しておりますけれども、町全体の環境、地球温暖化の対応ということですので私の方からお答えさせていただきたいと思います。地球温暖化、環境問題、良く勉強されているなと思います。すでにご存知かもしれませんが、2030年度の温室効果ガスの排出量を26%削減するパリ協定が2015年度採用されたことに伴いまして、国では2050年カーボンニュートラル、もしかしたら内容はもうご存知かもしれませんが、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするといった取り組みだと聞いておりますが、そういったことを宣言し、様々なことに取り組んでいるところであります。町では平成20年度に温室効果ガスを減らすための計画、辰野町地球温暖化防止実行計画というものを定めておりますけれども、こういった国の動き、カーボンニュートラルですとかゼロカーボンといった言葉も出てまいりますが、そういった考えを取り入れて町としてどのように地球温暖化対策に、更に積極的に取り組んでいくかを考えながら計画を見直す準備を進めているところであります。町の環境審議会といった会議、外部の方に入っていただく町民の方に入っていただく会議があるんですが、そこでも意見を聞いて来年度令和4年度から取り組みを始めてまいりたいと考えています。議員からご提案のあった公共施設等のプランターの設置ですとか、建物等の緑地化ですかね、こういった部分については植物の二酸化炭素の吸収作用として有効な手段であります。また合わせて夏には涼しさを感じる景観的な取り組みでありますので、ご提案いただいた内容はこの計画の取り組みの一部として、ぜひ盛り込んでいきたいなと考えております。参考までに現在、町で実施している取り組みとしましては、例えば役場庁舎ですと事務所に差し込む光を遮るグリーンカーテン、ゴーヤですとかヒマワリですとかね、そういったものをこう植えて緑で遮る取り組みもやっていますし、辰野病院では実は2階とか屋上のお話ですので、皆さんのところではちょっと見えないかなと思うんですが、実は庭園があってそこに緑化木などがありますし、季節ごとの植物とか野菜なども作っております。そういった取り組みもしておりますので参考にさせていただければと思います。以上です。

○議 長

藤澤議員よろしいですか。

○藤澤 瑞樹 議員 (5 番)

ひとつ提案させてください。植物を植えたプランターを南向きの方角に置いた方が、植物の育ちも良くてまた日あたりも良いと思うので、そちらに置いてもらえるようにしてもらえるといいと思います。

○総務課長

はい。プランターのお話をいただきました。町でも実際には菊とかはね、ドーム菊、地元の方が育てていただいた菊とかを置かせていただきますが、非常に心も和みますし温暖化にも効果がありますので、ぜひ役場庁舎から次年度になるかと思いますが、取り組んでまいりたいと思います。積極的なご提案ありがとうございます。

○議 長

藤澤議員よろしいですか。

○藤澤 瑞樹 議員 (5 番)

以上で質問を終わります。ありがとうございました。

○議 長

ただ今より、暫時休憩といたします。なお再開時間は 16 時 00 分、4 時 00 分といたしますので、時間までにご入場をお願いいたします。

休憩開始 15 時 45 分

再開時間 16 時 00 分

○議 長

進行いたします。質問順位 6 番、議席 6 番、福島未悠議員。

【質問順位 6 番 議席 6 番 福島 未悠 議員】

『宮木駅周辺に時計の設置を』

○福島 未悠 議員 (6 番)

私は、辰野中学校 3 年の福島未悠です。このような機会を設けていただきありがとうございます。私は今回、辰野中学校から宮木駅までの道のりに時計を設置してほしいとの要望をさせていただきます。

辰野中学校には辰野南小学校区から電車で通う生徒が大勢います。私もその一人です。電車通学者は日々電車に間に合わせることに必死です。部活や生徒会活動が終わ

った後、中学校から少し離れた宮木駅まで同じ電車通学者の友人と走って向かいます。その際、1分でも時間を読み間違えると命取りです。大人であればスマートフォンで時間の確認はもちろん、運行状況などの情報が簡単に入手できますが、私たちは時計の持ち込みですら禁止されている中学生です。駅までの道のりに時計を何箇所の設置を要望させていただきます。最低でも1箇所の設置を要望いたします。このことによって私たちの登下校は安心して余裕のあるものになります。再度、町による時計の設置を強くお願いいたします。以上ですが、町長の答弁をお願いします。

○町 長

はい。今年のお盆の大雨により現在、飯田線の一部が不通となっていますが、復旧工事が急ピッチで進んでいます。今回の災害で電車通学をされている辰野南小学校区の生徒の皆さんにとって、改めて飯田線は欠かせない移動手段になっていることが分かります。一刻も早い復旧を願うところであります。ただいま福島議員からの質問を聞いて、常に電車の時刻を気にしながら部活動や生徒会活動を行っていることが分かりました。少しでも長く活動をしながらも、下校の時は中学校と宮木駅の間を必死で走る姿を想像すると、交通事故には十分注意していただきたいと思います。中学校から宮木駅まで急ぐときは何分ぐらいかかるのでしょうか。歩いて10分から15分、走れば5分から10分ぐらいですかね。宮木駅までの途中に遠くからでも見やすい場所に、屋外時計があると安心すると思います。ところで生徒玄関から城前線を通って宮木駅までをたどってみました。中学校の生徒玄関と正面玄関には時計があります。まずそこで時刻を確認するのでしょうか。その先は城前橋から城前線ですが、沿線は桜並木となっていて、枝が張って見通しが悪いことから中学生の目線で時計が見える場所を調査する必要があります。設置するとすればどの辺が良いか、一緒に現地調査をしてもらえれば幸いです。もし効果的な場所が見つかれば予算の確保などの手続きがありますからすぐには設置できませんので、それまでの間は部活動・生徒会活動などは時間のゆとりをもって行い、楽しい中学校生活を送っていただきたいと思います。以上です。

○議 長

福島議員。

○福島 未悠 議員（6番）

以上で質問を終わりにします。

○議 長

進行いたします。質問順位 7 番、議席 7 番、小林紗英議員。

【質問順位 7 番 議席 7 番 小林 紗英 議員】

『花火の打ち上げについて』

○小林 紗英 議員 (7 番)

両小野中学校の小林紗英です。今日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。あらかじめ通告しました通告書により提案します。

昨年、辰野町の小学校や中学校などで花火を上げる日があったと思います。私はその日、家族と一緒に花火を見ていました。夜の空に打ち上がる大きな花火に「とてもきれいだな」「素敵だな」と思いました。また家族や近所の人たちの目が輝いて、花火を見て感心する声が聞こえていたのも良く覚えています。コロナウイルスの影響で一人ひとりの距離は離れていましたが、一緒に花火を見ることで一つの花火に気持ちが集中し、心がつながったように強く感じました。またテレビのニュースで花火師や花火業界が、コロナウイルスの影響で苦境が続いていると知りました。理由はコロナウイルスの影響で祭りや大会が中止になり、花火を上げる機会が減ったからだそうです。私はこのニュースを見て花火には人の心をつなげる力があるのに、見る機会が少ないのはとてももったいないし悲しいことだと思いました。このような点から花火には人の心をつなぐことができるし、困っている花火師たちを助けることもできると思います。いつまたコロナウイルスが流行するか、自分がかかってしまったらなど不安を抱えている人が多い今だからこそ、コロナウイルスが早く収束することを願って、花火を打ち上げることに意味があるのではないかと考えます。そこで辰野町で花火を上げる機会を作ってもらうことを希望したいのですが、町長の答弁をお伺いします。

○町 長

はい。ただいまは小林議員の花火に寄せる熱い、温かい思いありがとうございます。今、話を聞いてて特にこの 1、2 年は、町中いたるところで花火も上がりましたし、そんな花火を見ていると色々な感情も込み上げてきます。ちょっと思い出したのは、まったく個人的な話で申し訳ありませんが、こんな句が何か素敵だなあと思って、いつも私の心にあるのをちょっと紹介したいと思います。「美しゅうて やがて悲しき花火かな」花火を見てると何かワクワクする、うれしい気持ちになる方もいるかもしれませんが、何かこの句と出会ったら私も花火が華やかに開いた後スーッと消えて

いく、何かこの儚さ儚い中に美しさがある、そんな気持ちを良くあらわした句だなあと思って、ちょっと好きになったことを思い出しました。すいません、蛇足になりました。

さて、辰野町では毎年12月に、辰野町観光協会で冬開催のイベントであります「冬のほたる」の中で、ファイナル花火として荒神山にて花火を打ち上げております。例年多くの皆様から協賛をいただき、ここまで続けてきておりますが、花火を打ち上げられるのも協賛いただいた多くの皆様のおかげと感謝申し上げます。さて、今年はどうなのか、観光協会の事務局を務めております担当課長より申し上げます。

○産業振興課長

はい。それでは今年の花火の打ち上げ、どうなるのかなということで小林議員のご質問にお答えをしたいと思います。ご質問にありましたように去年はですね町内様々なというお話もありましたけども、3箇所では花火を打ち上げさせていただいております。1箇所は荒神山の球場をメイン、もう1箇所はですね北大出の南小学校の近くの道路で上げております。もう1箇所が今、議員感動いただいた、小野の小学校の近くで上げて3箇所ということで上げております。今、町長からお話あったようにですね、この花火については観光協会主催しております「冬のほたる」というイベントがあるわけであります。例年ですと荒神山中心にですね、そのイベント等を賑やかに開催をさせていただいてですね、多くの町民の皆さんにご来場いただいて、その最後にファイナル花火ということで、花火を上げさせていただいたところでありますけれども、今、ご紹介いただいたように去年はコロナが本当に真ただ中でですね、行事等も開催されず特に町の大きなイベントであるほたる祭りも中止になるという中でですね、いろんな部分が縮小される中で、町民の皆さんに少しでも元気を届けられたら、それとですね今、議員おっしゃっていただいたようにコロナの収束も願ってですね、「悪疫退散」という部分も込めて花火を上げました。それとですね去年もこの「ほたるの里中学生議会」開催いただく中で、中学生の皆さんからですね「ぜひこの町でやるこんなようなイベントにですね、私たちもこう一緒に何かやりたい」という声をいただきました。本当にコロナがなければですねこの「冬のほたる」のこのイベント、多くの皆さんに協力させていただいてですね賑やかに開催をしたかったところではありますが、こういう時期でありましたのでそういうことはできませんでしたが、打ち上げる花火にですね中学生の皆さん、辰野中学校、両小野中学校の皆さんからメッセージをいただ

いて、それを花火に張り付けてそれを上げさせていただいたということもございました。特にですね3箇所上げたという理由の中にはですね、荒神山の球場で上げる際にはですね、多くの皆さんが町内から現地に来ていただいてですね、直接花火を見ていただくということもあったわけですが、こういう時期でありましたので花火は自宅から鑑賞をとということを基本に、観光協会の方では捉えまして本当に5箇所6箇所上げれば良かったんですが、町長が今、言われましたように協賛金、多くの皆さんからお金をいただく中で上げさせていただいてるわけですが、3箇所という中で場所を絞らせていただいて同時に行ったわけでありまして。議員ご質問の中にありましたように、この花火を見てですね近所の人と距離を離れても一緒に花火を見ることで、心がつながったように感じたという感想をいただいたことにはですね、主催者側としてはですね大変うれしく思ったわけでありまして。特に小野においてはですね、こういうことが初めての試みだったこともありまして、大変喜んでいただきました。周知にはですね十分徹底したつもりであったわけですが、やはり周知不足があったせいかですね皆さんからは、「突然のあれで見れなかった」とかですね「突然の大きな音で驚いた」というような声も寄せられたわけですが、そういう部分はですね今後のやり方について検証をしていければということを考えております。さて、本題の質問のですね「今年も花火を」ということでございますけれども、先日の町の観光協会の幹事会がございまして、「じゃあ今年はどうしよう」ということで検討をさせていただきましたけれども、今年につきましては昨年のように町内分散してやる形ではなくてですね、荒神山の球場を1箇所の会場といたしまして打ち上げを実施をしたいと思っております。今年もですね鑑賞者の密度を避けるために、自宅で見られる方につきましてはご自宅からぜひ鑑賞いただきたいと、また今いう1箇所になりますので自宅から見れないという方につきましては、荒神山の方の近くに来ていただいてですねそれもある程度の間隔をとっていただきながら、鑑賞をいただくことをお願いをしていきたいというふうに考えているところであります。いつやるかという部分も決定しておりますけれども、開催につきましては12月の18日土曜日ですね、夕方の6時から打ち上げの予定でございます。今年につきましてもですね、打ち上げ花火には中学生の皆さんからメッセージをいただいて、そのメッセージを書き込んだものをですねいただきまして、花火の玉に付けてですね打ち上げればということで、皆さんがですねこのイベントに直接といいますか間接的になるわけでありまして、参

加できるようにということで計画をしておりますので、楽しみにしていただければと思います。以上です。

○議 長

小林議員よろしいですか。

○小林 紗英 議員（7番）

答弁ありがとうございます。今年も荒神山で花火を上げていただけるのならば、来れる人はぜひ来ればいいと思うんですけど、なかなか距離が離れていて来れない人や見たいけど見れない人もたくさんいると思うので、ほたるチャンネルのライブ中継を活用するなどして、より多くの人が花火を見れるように工夫してみるのはどうですか。

○産業振興課長

はい。ほたるチャンネルをとということをいただきました。ほたるチャンネルはですね同時的な放送ができれば一番いいわけなんですけども、「ほたる THE WEEK」等でですねまた録画の形になるわけなんですけども、打ち上げの様子をですね放送させていただいてちょっと時期がずれるにしてもですね、鑑賞ご堪能いただければということで考えております。以上です。

○議 長

小林議員。

○小林 紗英 議員（7番）

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○議 長

引き続き進行いたします。質問順位8番、議席8番、宮原薫子議員。

【質問順位8番 議席8番 宮原 薫子 議員】

『電車通学生に安心を』

○宮原 薫子 議員（8番）

私は辰野中学校3年の宮原薫子です。このような機会をいただきありがとうございます。通告に従い質問いたします。

さて、私は「電車通学生の安心・安全について」質問いたします。私は辰野南小学校を卒業し、この7月まで電車を利用していました。現在はバスを利用し登校しています。電車で通学しているといくつか困ることのうちの一つに、運行情報が入手しにくいということがあります。私たち中学生はスマートフォンなどの情報機器を持っていないため、駅に到着してから電車の運休や遅延を知り、どうしたらいいか分からず立ち往生してしまった経験が何度かありました。また構内アナウンスを聞き逃し、運

行情報を知ることができなかったこともあります。そこで私は以下の1点を質問します。

現在、辰野町内の駅では電光掲示板など誰でも情報を知ることができる環境が整っていないと思います。無人駅である宮木駅や羽場駅、伊那新町駅などには運行情報を知る手段は構内アナウンスのみです。これでは耳が不自由な方や高齢者、幼い子供などすべての人にもれなく情報を伝えることができないと思います。このような点について町はどのように考えるのか、町長の答弁をお願いします。

○町 長

はい。飯田線の無人駅への電光掲示板の設置の提案をいただきましたので、現状を調査いたしました。辰野駅はJR東日本の管轄ですが、ホームには「電車が来ます」と表示させる電光掲示板がありました。一方でJR東海の管轄の飯田線については、町内には無人の駅が3駅ありますが、ご指摘のとおり宮木駅、伊那新町駅、羽場駅にはスピーカーはあるものの電光掲示板はありませんので、すべての人に優しいバリアフリー化を考えますと、電光掲示板設置の必要性を感じたところであります。しかしながら駅構内の施設であり、また電光掲示板は電車からの電気信号を受けて表示させる施設であるため、町が予算を投じて設置することはできないのが実情であります。質問をいただきましたのでJR東海に確認をいたしました。町内の3駅を管理する窓口となっている伊那市の駅長さんからは、現在飯田線管内の無人駅には、電光掲示板が設置されている駅はないとのことでありました。また駅長さんからはバリアフリーの観点から提案内容には共感できるとの意見をいただきましたが、JR東海全体として無人駅について維持管理面から経費の掛かる施設は設置しない方針であり、予算面、技術面、管理面で非常に難しいということでありました。残念ですが、このような回答となります。

○議 長

宮原議員よろしいですか。

○宮原 薫子 議員 (8番)

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○議 長

進行いたします。質問順位9番、議席9番、巻渕響稀議員。

【質問順位9番 議席9番 巻渕 響稀 議員】

『町の知名度の向上を』

○巻渕 響稀 議員 (9 番)

私は辰野中学校 3 年巻渕響稀です。今日はこのような機会をいただきありがとうございます。今回、私は「辰野町の知名度向上について」お話させていただきます。

辰野町には豊かな自然が多く、とても住みやすい町だと実感しています。ゲンジボタルの照らす光は言葉にできないほど美しく、その光景を一目見ようと他市町村、他都道府県からも観光客がやってきます。また日本の中心として「ど真ん中」をうたい、様々な場面で「ど真ん中」を PR する行事が行なわれています。ですがこのような観光資源を知っているのは年配の方だったり、カメラを趣味とする特定の範囲の方だったりだと、知名度がまだまだ高くありません。私自身ほかの地域に住む同年代の友人やその親御さんに聞いても「辰野町は何が有名なの」「どんな町なの」と聞かれることが多数あります。そこで私は次の点をお聞きします。

辰野町の良さを広めるために現在どのような活動や宣伝方法で PR 活動を行っているか、またこれらをどのような方法で辰野町の観光を PR していこうかと考えているのか教えてください。辰野町の今後の展望が知りたいです。以上ですが、町長の答弁をお願いします。

○町 長

はい。巻渕議員の質問は町の知名度の向上であります。そして知名度アップを新たな観光資源の掘り起こしにより実現しようという提案であります。辰野町を代表する観光資源の中には、日本一の発生数を誇る松尾峡のゲンジボタルが有名ですが、平成 30 年 9 月に NHK のバラエティー番組の「チョコちゃんに叱られる」で、「日本の中心の中心は辰野町」といわば「お墨付き」をいただき、新たな観光スポットができました。これで辰野町内には日本の中心が実は 3 つできましたがわかりますか。一つ目は大城山山系、鶴ヶ峰展望台のそばにある「日本中心の標」。二つ目は緯度、経度がゼロで交わる「ゼロポイント」。そしてゼロポイントのすぐ近くに新たにできました「チョコちゃんポイント」の 3 つであります。それぞれ地域の有志の皆さんが周辺の環境を守る活動を行っておりますので、ぜひ多くの人に訪れていただきたい観光スポットであります。この NHK の番組をきっかけに小学生から年配の方々まで、多くの町民の方が辰野町を盛り上げようと集まった「ど真ん中作戦会議」がありました。当時の西小学校 6 年勇組の皆さんが考案した「ど真ん中ラーメン」は、町内のラーメン店の定番メニューとして定着しております。その皆さんも現在中学 3 年生となりました。辰野町

では町民の皆さんが辰野町で暮らして良かった、と思える辰野町をつくっていきたいと考えています。町民の皆さんが生き活きと暮らす姿を見て、一旦町を離れた人が帰って来る、また町外の方が何回も辰野町に來たり町民と交流したり、更には移住してくれる「知名度アップ」には、そんな「関係人口」が多い町を目指す目的もあるということを知っておいていただきたいと思います。具体的な観光のPR方法や、巻渕議員からの提案につきましては産業振興課長からお答えさせていただきます。

○産業振興課長

はい。それでは巻渕議員の町の知名度向上、また町の広告、宣伝についてですねどんな方法を使っているかというご質問であります。町の情報発信についてはですね、基本的には町のホームページ見ていただく中に観光サイトがございます。そちらを使って常時、情報を更新しながら情報を発信しているところであります。また皆さんも観光地に行って手に取ってご覧になったりする機会もあるようなものが、パンフレット等があるわけであります。辰野町においてもですね観光パンフレットを用意して広く観光情報等も発信しているところでございます。また観光パンフレットにつきましては昨年度リニューアルを行いまして、最新の観光情報、動画やアプリなどを盛り込むことでわかりやすくお伝えをしているところであります。今日お帰りの際にですね、正面玄関入ったところに観光協会のいろんな宣伝を、パンフレットを展示してある棚の中にですね、黄色いちょっと目立つ観光パンフレットがありますので、手に取ってご覧いただくか、またぜひお持ち帰りになってまた辰野の宣伝等にも努めていただければというふうに思っております。また県外においてはですね、それぞれの信州等のイベント等がございますので、そういう場面にですねポスターやパンフレット等も持ち込んで、情報発信をしているところであります。またあと、今、町長も紹介があったようにですねマスコミ等は大いに利用させていただきながら、情報提供また広告宣伝の掲載を行っているところであります。近いところではですね世界的な部分においては昨年のほたる祭り、たまたま中止になって町民の皆さんもほたる童謡公園に入ることができなかったわけですが、世界三大通信社であるAFP通信がですね、ちょうどコロナ禍で伝統あるお祭りが、世界各地で中止になっているということを受けてですね、去年がちょうど72回だったもんですから、72回続いているというこの伝統あるお祭りが中止になったということにこう注目いただいてですね、その取材班の皆さんがこの辰野町に來ていただきました。その皆さんはですね松尾峡のほたるの乱舞

を映していただいて、町との約束の中ですね、やはりそれが発信されると松尾峡に人がまた集中してはいけないということで、この発信についてはですね、ホテルの発生時期が過ぎた7月中旬位をめぐりに世界的に発信をしていただいたわけですが、多くの国ですねこの動画が流れたということで、関係する海外にお住いの皆さんからも問い合わせを受けたところであります。また最近はですねこのPRについてもですね、SNSという部分を活用にも力を入れているところであります。その点につきましてですね町の観光協会の副会長であります、山田副町長が率先してやっていただいておりますので、その点については山田副町長から答弁をいただければと思います。

○副町長

はい。課長からのご指名でありますので、私からもご説明させていただきたいと思っています。今、課長から答弁ありましたが、これから辰野町もですねこのSNSを利用した情報発信に力を入れていく必要を感じています。今、町のホームページも文字ばかりでしょ。もっと写真を使って見やすくしようと、今、リニューアルを進めています。役場の職員のお兄さんたちがですね、今、一生懸命作っております。来年の春くらいにはですね更新されてもっといい、見やすいホームページになると思いますので期待しててください。また辰野町観光協会ではですね、今年の2月に大城山の頂上の町中や伊那谷を見渡せる場所ですね、あそこにみんなで写真に写れるスマホの自撮り棒ではなくて、自撮り台、台の上にですねスマホだとかカメラを置いて、セルフタイマーを設定してみんなで撮れるっていうような、自撮り台というんですけどこれを設置しました。これはここに来たお客さんが大城山のとっぺんから写真を撮って、日本のど真ん中とか大城山とかハッシュタグですかをつけて、Instagramやフェイスブックで投稿して、発信して辰野町を紹介してもらおうという取り組みです。辰野町に来たお客さんにも辰野町の良さをPRしてもらおう、そんな場所を増やしていきたいと思ってます。ちなみにこの自撮り台の提案は私がしました。はい。皆さんはお聞きしますとまだスマホとか持っておられないということでもありますけど、私たちおじさん世代はですねなかなかこのスマホとかSNSを使いこなせないんですけど、中学生の皆さんも将来使うようになりましたらSNSで辰野町の良さを一緒にPRをしていただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

○議長

巻渕議員よろしいですか。

○巻渕 響稀 議員 (9 番)

SNS 上での利用はとてもいいと思いました。そこで SNS 上に関して私からも 1 点提案があります。新しい観光資源を作ることです。先ほど申し上げたとおり辰野町には日本有数のほたるの里です。ほたる祭りは辰野町の最大のイベントであり観光資源です。しかしそのほかに辰野町に誇れる観光資源はあまり少ないと思います。今後の辰野という町を PR していくために、新たな観光資源を作ることをしてみてはいかがでしょうか。例えば山形市では「皆で大きな鍋つぐっぺ」というテーマで、クラウドファンディングを行い見事成功しました。辰野町でも行政が行うクラウドファンディング「ガバメントクラウドファンディング」を企画し、日本中に知られる観光資源をつくってみてはいかがでしょうか。また「ガバメントクラウドファンディング」という難しい言葉ではなく、もうちょっと簡単な辰野町になじみのある名前にするために町民たちにアンケートもとってみてはいかがでしょうか。

○副町長

はい。新たな観光資源を作ってみてはという提案本当にありがとうございます。町民みんなが参加できるイベント、大変すばらしいと思います。思い出してみますとですね、今から 3 年前に元号が平成から令和に変わった年の 5 月 1 日ですね、荒神山のたつの海の周りを町民みんなで手をつないで祝おうっていう、輪になって祝おうというイベントをやったんですね。その時にはですね 1,000 人以上の人たちがたつの海の周りに集まっていたきまして、もしかしたら皆さんの中にも参加された方がいらっしゃるかもしれませんが、本当にみんなで手をつないでですね、大きな輪になって万歳をしたというようなイベントを企画したのは、あちらにいる一番隅にいる西原課長っていうね、生涯学習課の課長さんが提案してくれましたけれど、そんなイベントを実施してみました。本当にこの 1,000 人以上の人が集まるということはですね、この辰野町の町民の底力、団結力ってのをうんと感じたところであります。また新たな観光資源、来年の春は辰野町の 3 つの神社で「伊那御柱」が行われます。また再来年の春は「小野の御柱」があります。辰野町はホテル以外にも自然も歴史もあり観光資源はいっぱいあります。武居町長もイベント大好きです。今、新型コロナ禍の中様々なイベントや行事が中止、縮小になっていますが、コロナが落ち着いたらまたみんなで参加できるイベントや、新たな観光資源の発掘に頑張っていきたいと思っております。ぜひ皆さんからも企画の発想があれば、どんどん町にご提案いただければと思い

ます。そして巻渕提案のご指摘のクラウドファンディングを活用したイベントの企画、大変有効でこれからイベントの開催方法として必要な視点での発想だと思っております。町も研究していきますので、ぜひ皆さんの発想をお寄せください。どんどん採用したいと思っております。よろしくお願いいたします。以上です。

○議長

巻渕議員よろしいですか。

○巻渕 響稀 議員 (9 番)

以上で質問を終わりにします。ありがとうございました。

○議長

進行いたします。質問順位 10 番、議席 10 番、倉澤拓弥議員。

【質問順位 10 番 議席 10 番 倉澤 拓弥 議員】

『遊歩道の修繕について』

○倉澤 拓弥 議員 (10 番)

両小野中学校の倉澤拓弥です。今日は貴重なお時間ありがとうございます。私はあらかじめ質問許可をいただいた「遊歩道の修繕について」という件について要望します。

小野区の春宮地区に小野保育園手前の三叉路から西に向かって、その上にある公園まで続いている長さ約 250 メートルほど、幅 2 メートル 50 センチ中央に幅 50 センチ、アスファルトで舗装された遊歩道があります。その遊歩道は地域の人々の散歩コースや小中学生の通学路にもなっていますが、長い時間の経過とともに一部にでこぼこが目立ち、また 2 箇所のマンホールの周りに段差ができ、途中から遊歩道に上り下りする階段付近 3 箇所にもくぼみができています。過去には転んで怪我をした生徒もいました。私の目から見ても子どもやお年寄りが歩く遊歩道としては、とても危険な状態だと思います。春宮地区は小野区の塩尻市と接する北西部にあり、約 170 棟 650 人の人が住んでいます。ここも高齢化が進んでいた多数のお年寄りが運動に歩いています。私の祖父は歩くとき足が上がっているつもりでも上がっておらず、ちょっとしたでこぼこでも躓いてしまうとよく言います。この遊歩道のでこぼこは子どもたちもですが、特にお年寄りに大変危険だと思います。お年寄りが健康増進のため散歩をしていて、万が一躓いて転び怪我をして治るまで歩けなくなったとしたら、筋肉は使わないと 1 日 1%減ってしまうと言われています。もとに戻るには何倍もの努力が必要になりま

すし、町の医療費負担も増えてしまいます。散歩しやすい遊歩道になりもっと利用しお年寄りを始めみんなの健康が増進し、病気にかかることが減れば町の医療費負担が減ることになり、長い目で見れば修理費が一時的に増えるとしても、地元の人々にとっても町にとってもプラスになるかと思います。町には大変機動力のある道路補修チームがあると聞いています。ぜひ早く修繕をお願いいたします。私の要望は以上ですが、町長の答弁をよろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

はい。それでは倉澤議員の質問にお答えします。今回、ご指摘いただきました遊歩道につきましては、春宮公民館と同じ地番の敷地内にあるため、担当の生涯学習課より回答させていただきます。今回ご指摘いただきました遊歩道につきましては、地元小野区長と春宮耕地総代の立ち合いのもと、現地を歩いて確認させていただきました。先ほど議員申されたように幅１メートルのアスファルト舗装がされており、公民館より上を確認させていただきましたので、１箇所の下水道のマンホールのふたの周りが陥没しておりました。また３箇所の遊歩道に上がる階段の前後のところですね、陥没等ありましたので段差や溝によりまして、歩行者が転倒する恐れがあるという、またでこぼこの舗装につきましては、上の公園の付近の階段付近ですね、そちらの方にあるということを確認させていただきました。それぞれ早急に補修が必要と判断しまして、町道及び下水道の維持管理を担当する建設水道課において施工していただくようお願いしてございます。そして１０月の２６日に公民館から上につきましては、補修作業を実施してございます。通学路の主要な箇所につきましては学校、PTA、警察、建設事務所、地元区、町、教育委員会で点検を行っておりますが、範囲が広くすべての路線を確認することは不可能でございます。今回のように危険な箇所がございましたら、すぐに担任の先生に報告していただければ、早急に対応できるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。なお公民館より下につきましてはですね、また現地を確認する中で対応できれば、お願いしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

○議 長

倉澤議員よろしいですか。

○倉澤 拓弥 議員 （１０ 番）

以上で質問を終わりにします。ありがとうございました。

○議 長

以上で一般質問は全部終了いたしました。ここで辰野中学校生徒会長、藤澤瑞樹君から挨拶があります。

○藤澤 瑞樹 辰野中学校生徒会長

辰野中学校生徒会長の藤澤瑞樹です。生徒を代表してご挨拶を申し上げます。本日は私たちに町議会への参加という貴重な機会をいただきありがとうございます。

私たちは議会に参加するという経験が初めてのことなので、緊張や不安を抱えながら今日を迎えました。私たちが今日、提案したことは生徒一人ひとりが日ごろ辰野町に感じている疑問や要望を、クラスみんなで話し合いながら決まったものです。辰野町の知名度向上や辰野駅の活性化、また辰野町の交通安全の向上など 10 人の提案内容は違いますが、どれも辰野町をより良いものにしていこうという部分で共通しています。

今回この議会に参加するという経験をとおして、辰野町の行政に関心を深めることができました。今日提案させていただいた意見や要望は中学生の視点から見たもので、具体性や実現性にまだまだ欠けているかもしれません。ただこの提案を少しでも辰野町の行政に取り入れていただければと思います。私たちも中学生なりに地域とつながり、辰野町を盛り上げていくことができるようにこれからもがんばります。本日はありがとうございました。

(拍手)

○議 長

続いて、宮澤教育長より挨拶があります。

○教育長

10 名の中学生議員の皆さん、大変お疲れさまでした。今日は辰野中学校、両小野中学校合わせて 10 名の中学生に議員として参加いただきました。皆さんは辰野町が抱える様々な問題について、中学生の視点から質問をいただきました。緊張しましたか。9 月 10 日私は辰野中学校で授業参観をいたしましたけれど、この際、皆さんはちょうどこの中学生議会においての質問する内容について、タブレットを使いながら内容を絞り込んでいる、そんな場面のクラスの授業も見させていただきました。一人ひとりが真剣に向き合い、グループごとに意見を集約していた場面で行っていました。中学生議会は町の将来を担う中学生たちに自分の夢や願い、希望を織り交ぜながら、中学生

の視点から町政に対する要望や意見を出していただき、今後の町政に反映させるとともに、政治に関心を持っていただくことも目的に開催させていただきました。皆さんは社会科の公民の学習において、地方自治を習っているわけですが、学校の授業で習ったことと実際の議会を体験した今、どんな感想を持ったのでしょうか。今日の中学生議会では、中学校前の横断歩道の改良や安全な通学路の確保、通学の途中でも時間が分かるように時計の設置を、更には駅に電光掲示板を設置してほしいという、自分たちの中学生に直結した課題から、町民の移動手段、交通手段、辰野駅や商店街の活性化、更には町民が明るい気持ちになり心がつながるように花火を打ち上げてほしい、また町の一層のPRや新たな観光資源の開発をと、辰野町全体を考えたもの、更には今後、益々重要になってくる地球温暖化対策を意識した街づくりまで、実に幅広い重要な課題を指摘していただきました。これらはいずれも今日の辰野町が抱えている課題の一つでもあり、町としても重要な課題、重い課題として認識しておりますが、中には私たち大人では気付かない課題の指摘もあり、その点を質問されたことに改めて皆さんの意識の高さを認識し、大変感心いたしました。態度も実に立派でした。答弁した町長やそれぞれの課長も真剣にやりました。通常の町の議会と同じように、本気で考え本気で答弁をいたしました。ですから皆さんもこのような雰囲気での議事が開催されてるんだということを思ってください。中学生の皆さん一人ひとりが辰野町の課題を捉え、何が提案できるかを真剣に考え仲間と力を合わせ、質問内容を整理し代表者が質問されたことは町にとりましても、中学生からの大きなエールをいただいたものと頼もしく思っております。その思いにしっかりと耳を傾け一つひとつ着実に環境を整えながら皆さんの頑張りと成長を応援したいと思っております。皆さん一人ひとりの努力により、大変素晴らしい中学校議会をつくり上げていただけたことに感謝を申し上げます。この間、熱心にご指導いただきました校長先生はじめ先生方には、改めてこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

皆さんはこの中学生議会の学習が始まる前と中学生議会が終わった今とで、何かこう変わったことはありますか。先週は辰野町長選挙そして昨日は衆議院選挙と町議会議員補欠選挙があり、皆さんもポスター等見る中でいろいろ考えたことだと思います。政治は遠い世界の話ではなく皆さん一人ひとり、町民一人ひとりの意思で動いていくものです。皆さんは今、中学3年生、あと3年もすれば選挙権が与えられる。そして

5年後には20歳になります。そう考えますと長い人生の中で、最も多感な中学生時代にこのような貴重な体験をされたということは、将来、大いにプラスとして働くものと思っております。今日のこの経験を活かしさらに学び、素晴らしい辰野町民となっ
ていただくことを期待しております。皆さんの今後の期待も込めて教育長の挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

○議 長

以上を持ちましてほたるの里中学生議会を閉会といたします。準備期間を含めて大変な長丁場ご苦労さまでした。

9. 閉会の時期

11月1日 午後4時50分 閉会

この議事録は、議会事務局長 桑原高広、庶務係専門員 有賀智美の記録したものであって、内容が正確であることを認め、ここに署名する。

令和3年11月30日

辰野町議会議長

署名議員 1番 小澤 ゆず

署名議員 2番 矢ヶ崎 悠輔